



こんにちは
町長です

「子どもは町の宝」子育て支援について

小鹿野町は県下でもトップクラスの子育て支援等の子育てに関する施策に取り組んでいる町だと思っています。

本年4月から町役場組織を編成し、住民生活課から独立させ「こども課」を新たに設置いたしました。国でも本年度から「こども家庭庁」を組織し、子どもに関する国の政策をまとめることとなりました。町では、こども家庭庁と密接な連携を図りながら、子どもに関する諸施策を一本化して、効率的に行ってまいりたいと存じます。

町では、「子どもは町の宝」として妊娠期から新生児、乳児、幼児期、そして小中高校生に至るまでの間、幅広い子育て支援策を行っています。

主なことを具体的にあげますと、まず、妊娠を希望される方で不妊・不育症検査や治療を受けている方の経済的負担を軽減するための費用の一部助成を行っています。助産師や保健師が対象の妊婦さんに出産後の母子保健サービスの説明を行ったり、妊娠8カ月以降の妊婦さんには育児ギフトをお渡ししています。ICT技術を活用した新たな子育て支援策として母子手帳アプリ「母子モ」を導入し、様々な情報提供も行っています。

子育て家庭を応援する助成・手当等では、子育て支援金としてお子様が生まれた家庭に第1子、第2子については5万円、第3子以降については50万円(5年間の分割支給)を支給しています。

子ども医療費助成としては、満18歳に達した最初の3月

31日までの子どもを対象として医療費を支給しています。(医療費の無料化)

小中学生の支援としては、給食費の全額と教材費の一部を補助しています。給食費の全額無料化は県内市町村でも早い時期から取り組みを始めました。

子育て支援センターは、平成27年度から旧三田川幼稚園に移転し、広い施設を利用した子育て中の親子の交流の場となっています。また、子育てに関する相談なども行い、地域の子育て支援拠点としての役割も高まっています。

保護者が就労等により保育することができない場合については、町内に公立の保育所が1箇所、私立の保育園が1箇所あります。また、保育所と幼稚園の両方の機能を持つ町立の幼保連携型認定こども園を県下の公立では初めて開設いたしました。学童保育室は小学校1~6年生を対象に町立が1室、私立が4クラブ(室)設置されています。

高校生等には、バス・電車通学に係る定期券の一部補助(月額上限3千円)も実施しています。その他にも様々な取り組みを行っておりますが、この紙面では紹介できません。

このような施策に取り組んでいる現状から、小鹿野町は子育てするには良い町であることを町民の皆様にご理解いただくとともに、町の魅力の一つとして町外にもPRをし、この町に住んでいただく人の確保につなげてまいりたいと存じます。

小鹿野町長 森 真太郎